

(2) 水稻

八重山地域は、県内稲作の主要産地である。令和5年の水稻作付面積は一期、二期合わせて376haと県全体の65.3%を占め、収穫量は1,196トンと県全体の64.6%を占めている。

一期作の10a当たり収量は295kgで、県平均の321kgよりやや低い。二期作は9月上旬までの植え付けのため台風被害を受ける可能性が高く、収量・歩留まりが低い等の理由により、近年では一期作の3割未満の作付となっている。

温暖な気候を活かし、一期作は6月に新米を出荷できる「超早場米」として、他の産地より有利販売が可能である。主要品種は食味に優れた「ひとめぼれ」が生産されており、西表地区では平成26年二期作より、低アミロース品種である「ミルキーサマー」の栽培に取り組んでおり、ブランド化が期待される。消費者の食の安全性への関心の高まりもあり、エコファーマー認定、特別栽培農産物の認証を受けるなど、多様な消費者ニーズに対応した米作りが行われている。



田植前の風景



主要品種：ひとめぼれ

令和5年産水稻の生産実績

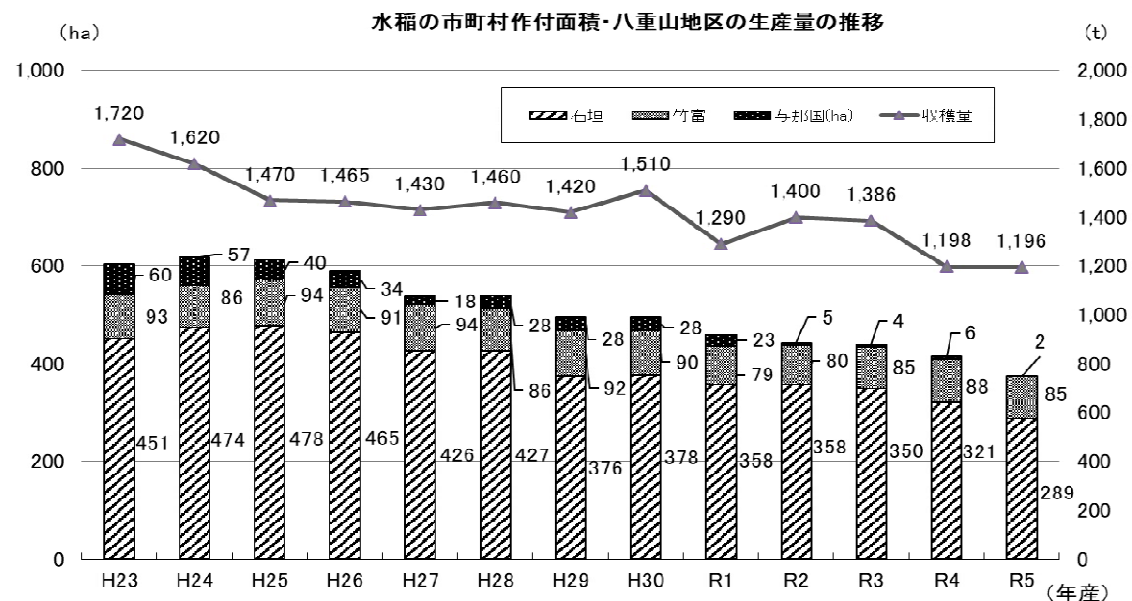
	作付面積(ha)			10aあたり収量(kg)			収穫量(t)		
	計	1期作	2期作	平均	1期作	2期作	計	1期作	2期作
県計	576	441	135	321	350	227	1,850	1,540	306
石垣市	289	238	51	329	370	135	950	881	69
竹富町	85	63	22	282	307	210	240	195	46
与那国町	2	2	-	273	273	-	6	6	-
八重山計	376 (65.3)	303 (68.7)	73 (54.1)	295	317	173	1,196 (64.6)	1,082 (70.3)	115 (37.6)

資料：第52次沖縄農林水産統計年報（与那国の値はJA取扱数量）

注1：八重山計の10aあたり収量（kg）は、石垣市、竹富町、与那国町の平均値

注2：斜体は県計に占める割合

水稻の作付面積と生産量の推移



資料：第52次沖縄農林水産統計年報

(3) 野 菜

八重山地域の野菜生産は、平成5年のウリミバエ根絶を契機に、温暖な気候特性を活かした冬春季の県外市場への端境期出荷を中心に進展してきた。近年はオクラ、かぼちゃ、ゴーヤー、さやいんげん等が県外へ出荷されており、令和5年度のJAおきなわ八重山地区営農振興センターの上記4品目の出荷実績は約272t、188,146千円となっている。また個人出荷ではピーマンやきゅうりの出荷も増加している。平成18年に石垣市のオクラが、平成26年に竹富町のかぼちゃが拠点産地に認定され、生産部会と産地協議会を中心に、生産性向上と八重山ブランドの確立に向けて取り組んでいる。

また平成23年にはJAファーマーズマーケット「ゆらていく市場」が開設され、より新鮮で多様な野菜の地域内への供給が可能になった。令和5年度の野菜類の委託販売額は197,354千円で県外出荷額を上回り、キュウリ、ゴーヤー、トマト類、ナス、ピーマン、ラッキョウ、オクラ等を中心に、多種多様な品目が販売され、地産地消の推進と地域経済の活性化に大きく寄与している。

■令和5年産主要出荷品目の栽培面積と県外出荷量

品 目	オクラ	かぼちゃ		ゴーヤー	さやいんげん
産 地	石垣市	石垣市	竹富町	石垣市	石垣市
栽培面積 (ha)	9.6	8.5	10.0	2.4	0.3
出荷量 (t)	61.4	57.6	119.8	29.5	3.4

※JAおきなわ八重山地区営農振興センター取扱量（令和5年4月～令和6年3月。但しかぼちゃは令和6年1月～5月）



オクラ



かぼちゃ



ゴーヤー



さやいんげん

(4) 果 樹

主要品目のマンゴーは、近年リース事業の導入等で栽培面積が増加しており、令和4年では結果樹面積28ha、収穫量208tとなっている。その多くが個撰個販で、樹上完熟させた高品質の果実を宅配便等を利用して消費者に直接届けている。平成20年に発足した八重山マンゴー研究会では、技術向上のための勉強会や現地視察が定期的に開催され、収量や品質が向上している。平成25年にはJAマンゴー部会も設立され、全員がエコファーマー認定を受けるなど独自の取組を進めている。他にもバナナ、パパイヤ、ドラゴンフルーツ（ピタヤ）、パッションフルーツといった多様な熱帯果樹が栽培されている。



マンゴー栽培状況

■八重山圏域主要果樹（パイナップルを除く）の生産の推移

単位：ha、t

	バナナ			パパイヤ			マンゴー		
	結果樹面積	収穫量	出荷量	結果樹面積	収穫量	出荷量	結果樹面積	収穫量	出荷量
平成30年	6	38	38	1	5	5	26	153	153
令和元年	6	41	41	1	6	6	31	180	179
令和2年	6	41	41	1	6	6	28	196	196
令和3年	1	51	51	1	22	22	32	257	257
令和4年	2	50	50	1	17	17	27	208	208
	ドラゴンフルーツ			パッションフルーツ					
	結果樹面積	収穫量	出荷量	結果樹面積	収穫量	出荷量			
平成30年	2	29	29	3	10	10			
令和元年	2	29	29	3	11	11			
令和2年	2	29	29	3	11	11			
令和3年	0	5	5	0	9	9			
令和4年	1	4	4	1	8	8			

資料：「沖縄県の園芸・流通」 沖縄県農林水産部 令和6年3月（令和4年については速報値）

(5) パインアップル

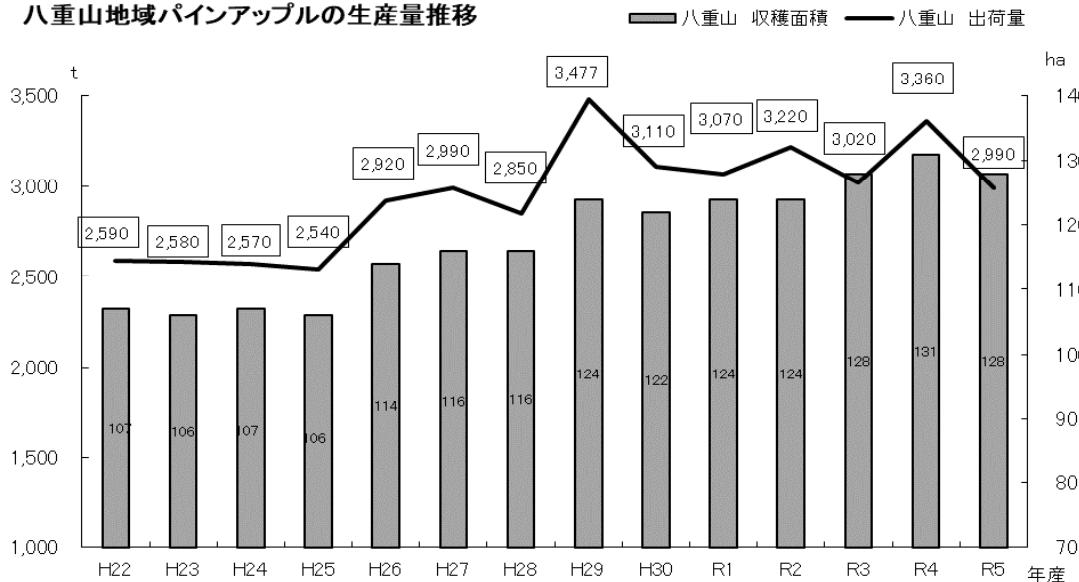
八重山産(主に石垣島、西表島)パインアップルは加工場の閉鎖により一時衰退傾向であった。しかしながら、近年は生食用パインアップルの需要の増加に合わせ、栽培面積、出荷量ともに増加傾向で、平成26年以降は3千トン前後の生産が続いている。県内生産に占める八重山産の割合は、収穫面積で41.2%、出荷量で45.6%であり、その大半が生食向けである。栽培品種はボゴール、ソフトタッチ(ピーチパイン)、ハワイ種(N67-10等)が主であるが、品種の育成も進み、ジュリオスター、ゴールドバレル、沖農P17(商標名:サンドルチェ)、沖農P19(商標名:ホワイトココ)といった新品種の種苗が徐々に供給され、品種構成が多様化している。

令和5年産パインアップル生産状況

	収穫面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量 (t)	出荷量(t)		
				計	生食向け	加工向け
県 計	311	2,170	6,750	6,550	4,690	1,860
沖 縄 本 島	181	1,980	3,580	3,530	1,830	1,700
八 重 山	128 (41.2)	2,440	3,120 (46.2)	2,990 (45.6)	2,830 (60.3)	157 (8.4)

注：(斜体)は県計に占める割合

八重山地域パインアップルの生産量推移



資料：「沖縄県のパインアップルの栽培面積・収穫面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量の推移」農林水産省

パインアップル主要品種の特徴

N67-10(ハワイ種、ジュワリーパイン) [収穫時期]6月～8月 [果実量]約1,200g [果形]たると型 [果肉色]黄白色 [果汁品質(自然発酵、食味)] 糖度は16度、酸度は0.7% 甘酸っぱい食味で、果汁が豊富 [栽培特性] 吸芽発生が悪いので、2回目収穫が難しい。高温期の花芽誘導処理が効きにくい。 [その他] 加工生食用。 沖縄県の主要栽培品種。	ボゴール(ボコットパイン) [収穫時期]4月～7月 [果実量]約1,000g [果形]たると型 [果肉色]黄色 [果汁品質(自然発酵、食味)] 糖度は20度、酸度は0.6% 果汁は少ないが、糖度が高く、甘みを強く感じる。 [栽培特性] 栄養芽発生が良いので、種付苗の確保や2回目収穫が容易。草本や冠葉に上げがある。 [その他] 石垣島の主要栽培品種。 小果腐敗病が発生しやすい。	ソフトタッチ(ピーチパイン) [収穫時期]4月～7月 [果実量]約800g [果形]たると型 [果肉色]黄白色 [果汁品質(自然発酵、食味)] 糖度は18度、酸度は0.7% 桃のような独特の香りがあり、さわやかな食味が特徴。 [栽培特性] 栄養芽発生が良いので、種付苗の確保や2回目収穫が容易。 芯腐れ症状が発生しやすい。
ゴールドバレル [収穫時期]5月～7月 [果実量]約1,400g [果形]円筒形 [果肉色]黄白色 [果汁品質(自然発酵、食味)] 糖度は16.5度、酸度0.6% 糖酸比が高く、果肉も柔らかい。 [栽培特性] 種付苗確保が難しく、生育も遅いため、栽培が難しい。 2回目収穫も難しい。 [その他] 県産パインで最も高価格で販売されている品種。	沖農P17(サンドルチェ) [収穫時期]5月～11月 [果実量]約1,000g [果形]たると型～円筒形 [果肉色]黄白色 [果汁品質(自然発酵、食味)] 糖度は21度、酸度は0.6% 極高糖で食味が良いのが特徴。 [栽培特性] 葉や果実の耐風性が強い。 葉腐病が発生しやすい。 [その他] 県産パインおよび自然発酵での果実障害発生が少ない。	沖農P19(ホワイトココ) [収穫時期]5月～8月 [果実量]約1,300g [果形]たると型 [果肉色]白色 [果汁品質(自然発酵、食味)] 糖度は18度、酸度0.5% ココナツのような香りで、果肉も柔らかく、非常に美味。 [栽培特性] 種付苗確保が容易で、生育旺盛のため栽培しやすい。 2回目収穫でも大果となる。 [その他] 令和3年に品種登録された新品種。

*括弧内の名称は各品種の商標名や愛称を示す。

資料提供：農業研究センター石垣支所

(6) 花 き

八重山地域の花き生産は、温暖な気候を活かし、レッドジンジャー、ヘリコニア、洋ラン、切葉類等の夏季県外出荷品目を中心に取り組まれている。令和4年の花き栽培面積は6.2haで、切り花類の出荷数量が31万本であり、出荷数量は前年よりも減少した。

石垣市はヘリコニア、レッドジンジャーの県内有数の産地であり、平成19年に拠点産地に認定された。品質の高さは市場からも高い評価を得ている。洋ランは、デンファレを中心とした施設栽培が行われており、島内外からの需要も高い。

また、石垣市花き産地協議会主催のもとフラワーアレンジメント教室の開催やフラワークーポンの販売、各種イベントでの島産花材の利用等を行うことによって島内産花きのPRを行っている。

■八重山地域花き類生産実績の推移

単位：a、千本、千円

種類名	H30年産			R1年産			R2年産			R3年産			R4年産		
	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額
デンファレ	95	46	2,162	125	17	1,700	125	16	1,550	50	20	1,100	56	14	3,714
その他洋ラン	0	0	0	0	0	0	10	2	20	0	0	0	0	0	0
洋ラン類小計	95	46	2,162	125	17	1,700	135	18	1,570	50	20	1,100	56	14	3,714
ストレリチア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘリコニア	447	852	25,756	184	297	9,263	206	252	7,099	207	64	1,918	150	121	2,012
レッドジンジャー類	387	311	21,535	465	160	15,853	440	124	13,553	285	220	14,944	290	73	5,704
ウイキョウ	26	30	1,567	47	27	1,731	47	24	1,500	15	1	400	0	0	0
一年草・多年草小計	860	1,193	48,858	696	484	26,847	693	400	22,152	507	285	17,262	440	194	7,716
アレカヤシ	40	22	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ドラセナ類	132	176	7,211	111	129	5,894	182	123	5,884	206	216	16,980	116	79	5,047
タニワタリ	12	9	154	7	9	405	7	8	351	0	0	0	0	0	0
セローム・クッカバラ	0	0	0	10	1	25	10	1	25	0	0	0	0	0	0
オクラレルカ	1	1	20	0	1	12	0	1	12	0	0	0	0	0	0
糸芭蕉	26	5	164	5	2	167	5	2	167	0	0	0	0	0	0
その他葉もの	62	53	961	105	66	3,657	80	51	2,568	0	0	0	1	3	1,299
葉もの小計	273	266	8,585	238	208	10,160	284	186	9,007	206	216	16,980	117	82	6,346
球根切花類小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他切花類小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
①切花類 計	1,228	1,505	59,605	1,059	709	38,707	1,112	604	32,729	763	521	35,342	613	290	17,776
その他観葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2,613
観葉鉢物小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2,613
デンファレ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	14	3,714
洋ラン鉢物小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	14	3,714
その他鉢物小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②鉢物類計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	18	6,327
③花壇用苗物計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	492
計(①+②+③)	1,228	1,505	59,605	1,059	709	38,707	1,112	604	32,729	763	521	35,342	623	310	24,595

資料：「沖縄県の園芸・流通」 沖縄県農林水産部 令和7年3月

注：石垣市と竹富町の合計値



ヘリコニア栽培状況



レッドジンジャー栽培状況



(7) 葉たばこ

八重山(石垣市)の令和6年産葉たばこの収穫量は74tとなっており、前年59tと比較して約25%(15t)増加し、生産額も133,268千円で前年の103,226千円と比較して29%(30,042千円)増加している。

過去直近3年(令和3～5年度)平均との比較は、収穫量は約9%(7.4t)減、生産額も約10%(14,463千円)の減少となっている。



葉たばこ栽培状況(石垣市)

令和6年度葉たばこの生産状況

項目 地域別	栽培農家数 (人)	収穫面積 (ha)	収穫量 (t)	10 a 当たり 収量 (kg)	1kg当たり 平均価格 (円)	生産額 (千円)
県 計	129	488	1,039	213	1,980	2,057,787
八 重 山 (石垣市)	(7.8%) 10	(6.1%) 30	(7.1%) 74	247	1,812	(6.5%) 133,268
宮 古 島 市	(49.6%) 64	(50.9%) 248	(51.0%) 530	213	2,011	(51.8%) 1,065,532
多 良 間 村	(5.4%) 7	(3.0%) 15	(3.4%) 35	238	2,004	(3.4%) 70,243
本 島 (伊江島・久米島含む)	(37.2%) 48	(40.0%) 195	(38.6%) 401	206	1,969	(38.3%) 788,743

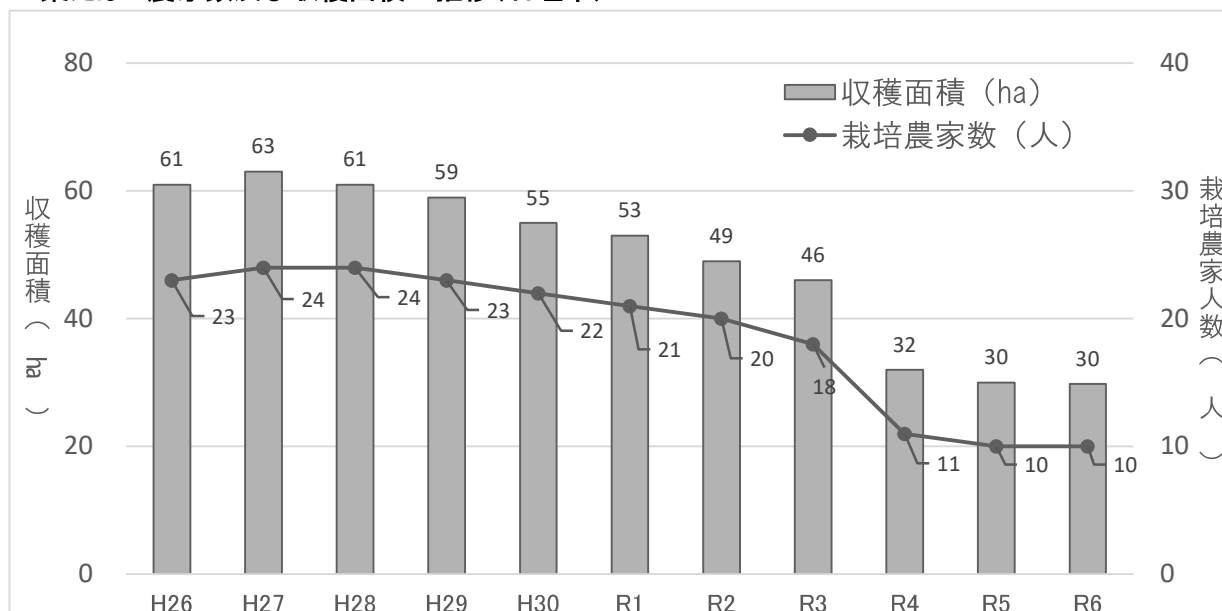
資料：沖縄県糖業農産課

葉たばこの生産状況の推移(石垣市)

項目 年次	栽培農家数 (人)	収穫面積 (ha)	収穫量 (t)	10 a 当たり 収量 (kg)	1kg当たり 平均価格 (円)	生産額 (千円)
H28	24	61	121	198	2,003	241,726
H29	23	59	133	244	1,824	242,001
H30	22	55	135	244	1,702	229,450
R1	21	53	120	224	1,952	233,286
R2	20	49	98	201	2,102	205,365
R3	18	46	123	270	1,824	225,066
R4	11	32	61	190	1,887	114,901
R5	10	30	59	197	1,759	103,226
R6	10	30	74	247	1,812	133,268

資料：沖縄県糖業農産課

葉たばこ農家数及び収穫面積の推移(石垣市)



(8) かんしょ

石垣市では、平成19年に石垣市甘しょ産地協議会が発足し、石垣島甘しょ生産組合を中心に生産者の組織強化や品種の選定などが取り組まれた。平成29年3月に生産組合が石垣市甘しょ生産組合として再結成され、同年5月に石垣市は県奨励品種の紅イモ「沖夢紫」等のかんしょを対象品目とした拠点産地に認定された。平成29年8月に民間企業の新加工施設が整備され現在まで生産が拡大していた。しかしながら、新型コロナウイルスの影響による観光客の減少に伴い、加工品販売が激減した。そのため作付面積が調整されたが、観光需要の増加によって生産面積は増加に転じている。令和5年度は栽培面積7.6ha(対前年比78%)、収穫量135t(対前年比250%)となった。単収は1.8t/10aとなった。今後は改めて生産拡大が見込まれる。



「沖夢紫」の栽培ほ場と収穫選別の様子

■石垣市かんしょ生産実績の推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
面積 (ha)	17.5	27.9	32.3	8.0	9.7	7.6
生産量 (t)	199.3	305.9	401.5	64.0	53.6	135.0
単収 (t/10a)	1.14	1.10	1.24	0.80	0.55	1.77

資料：石垣市農政経済課

(9) ボタンボウフウ（長命草）

日本の最西端に位置する与那国島では、古くから祭事の供え物として用いられてきたボタンボウフウ（長命草）を平成16年から9戸の農家で経済栽培を開始し、平成18年3月には薬用作物部門で拠点産地認定を受けた。

平成20年に農業生産法人が設立された後、平成22年には与那国島長命草生産組合が結成されたことに加え、栽培から乾燥作業までの工程を島内で行う生産加工体制が整ったことにより、生産量も拠点産地認定後から約6倍(平成18年度生産量を基準)まで増加し、ボタンボウフウの一大産地となっている。

なお、農業生産法人と農家間の契約栽培は終了し、令和3年度以降は農業生産法人による自社生産へと転換している。



ボタンボウフウの栽培状況

■与那国町ボタンボウフウ生産実績の推移

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
生産農家戸数 (戸)	60	60	25	1	1	1
栽培面積 (ha)	22	22	7	2.2	2.5	2.5
生葉生産量 (t)	370	350	160	14	17.5	16.8

資料：与那国町役場産業振興課